

交通安全通信

第10号(冬号)

～地域交通安全センター～
スルガ自動車学校

〒424-0204
静岡県清水区興津中町5 2 2 - 1
フリーダイヤル0120-017-120

年末の交通安全県民運動実施中

【目的】
この運動は、県民一人ひとりが、自らの交通安全に関する知識を高め、交通ルールの遵守と交通マナーの実践に努めることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

【実施期間】
十二月十五日(水)～十二月三十一日(金)までの十七日間

【ローガン】
安全は自ら うちから 地域から

運動の重点

- 高齢者の交通事故防止
- 夕暮れから夜間の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶
- 早めのライト点灯と反射材の着用推進



夜間走行はハイビーム ～遠くの危険早めに回避～

車の前照灯はハイビームが基本。交通事故の抑止に取り組み県警が、そんな原則に基づいた夜間走行を推奨している。より遠くまでライトの光を届けることで、いち早く危険を察知して、事故を回避してもらうのが狙い。ただ、使い方によっては周囲の迷惑になることもあり、定着には課題もありそうだ。

県警交通企画課によると、道路運送車両の保安基準は、前照灯を上向きハイビームにした時、約100メートル先まで照らせる光度にするよう定めている。これに対し、下向きのロービームの照射範囲は約40メートル先までにとどまる。

時速60キロの場合、ブレーキをかけてから止まるまでの制動距離は31メートル。ロービームで40メートル先の歩行者などに気付いても、対応が少し遅れられ

ば事故につながる。同課の担当者は「ハイビームなら発見が早まる。ドライバーが得る情報量は全く違う」と効果を強調する。

実は道交法上、前照灯は「ハイビームが基本」。同法の規定は、ほかの車と行き違つ時や車の直後を走る時だけ「前照灯の光度を減じ、また照射方向を下向きにする」としている。つまり「通常はハイビームで、支障がある場合はロービーム」という操作が原則だ。

ただ、規定を意識しているドライバーは少ない。静岡市内のタクシー運転手(六十六歳)は「(規定は)知らなかった。見通しの悪



ハイビームで照らした夜間の道路
ロービームの場合(下)と比べて遠くまで光が届く



いところ以外、ハイビームは使わない」と話す。同課は「街中などでロービームで走る機会が多いため、「勘違い」につながっている」とみる。

「ハイビームのままの対向車などがあると危険」「天候によっては逆効果」といった指摘もある。ドライバーに正しく周知する方策はまだ、検討段階だ。

県警のまとめでは、今年一月～十月に発生した「人対車両」の事故は2123件。歩行中の死者は52人に上り、対策が急務になっている。同課は「早めのライト点灯や歩行者に反射材着用を促す『トワイライト作戦』に合わせ、ハイビーム活用も呼び掛けていきたい」と話している。



第7回フェスタ・スルガ 天候にも恵まれ多くの方に来場していただきました。



十一月十四日(日) 第7回「フェスタスルガ」が開催され、天候にも恵まれ約800名の方に来場していただきました。

二輪車の試乗会や運転コンテスト、白バイ隊員との記念撮影会、静岡県立大学のチアリーディング部によるパフォーマンス、模擬店、刑務所作業製品展示販売クラシックカーの展示スルガ塾による英会話発表会、CスターTガールによるチアリーディングパフォーマンス(平成二十二年小学生の部で全国優勝)、バザー、ビンゴゲーム、竹トンボ作りなどで大変盛り上がりました。

この催しは七年前から始まり、毎年十一月の中旬に行われ、イベントの内容も職員の手により毎年工夫を凝らした内容になってきております。

来年は十一月十二日(日)を予定しておりますのでぜひ足をお運びください。

スルガ自動車学校地域貢献活動報告

十一月二十四日から二十六日の三日間、当校にも中学生の職場体験学習で興津中学校から三名のお友達に来てくれました。

会社の概要説明の後、受付業務の体験や指導員の教習の様子を教習車に同乗して見学していただいたり、教習機器を実際に取り扱ってもらするなど様々な体験をしていただきました。

このことが三名にとって将来の職業を考えるよい体験になってくれればと思います。



今年も自動車学校のコーズにイルミネーションが点灯しました。

昨年よりもバージョンアップしたイルミネーションは、照明が消えた後はとてもきれいです。夜十一時まで点灯していきますのでぜひ見に来てくださいね。



十二月二十八日(火) 当校の駐車場において「もちつき大会」を行います。つきたてのお餅を、きなこ餅、あんこ餅、おろし餅にしますのでぜひいらしてしてください。

参加費はもちろん無料です。

